



09

● 高所作業車の選定



車両
・
高所作業車

最大地上高の選定には・・・

作業場所の高さが12mの場合、最大地上高12mのものを選びがちです。しかしながら、12m付近での作業範囲図を見ると、作業半径がほとんどありません。このような場合、1ランク上の最大地上高が17mのものを選択すれば、作業高さ12m付近の作業半径は約12mもあり、車両を移動せずに効率よく作業を行うことができます。

機種を選定には・・・

■ 広い作業範囲が必要な工事には・・・

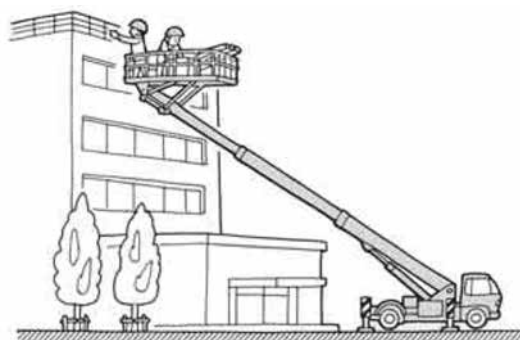
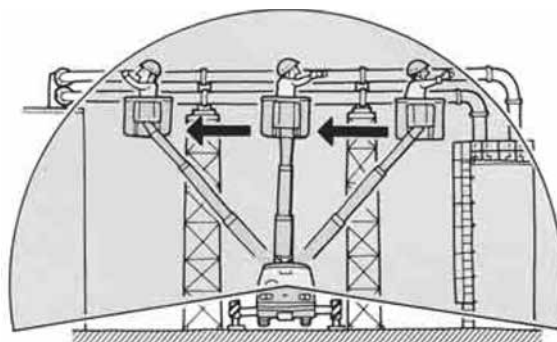
直伸式・屈伸式タイプ

高所を移動しながら連続した作業が必要な配管・ガス系統の点検・塗装作業、作業位置の下に障害物がある場所での工事、また道路や歩道をまたいでの工事には、高所での作業範囲の広い直伸式タイプを選定します。

■ 軒先や障害物の多い場所で大量の資材や作業員を搭載して工事をするには・・・

重荷重式タイプ

大量の資材や工具類を積み込んで加工しながら作業したいが、障害物が多く、目標地点に近づけないような現場では、重荷重式タイプが機動力を発揮します。



油圧
ショベル

アタッチ
メント類

整地・運搬・
積込・転圧
機械

コンブ
レッサー・
エア工具

発電機・
ウェルダー

ポンプ類

パイプ
レータ類

小型機械・
工具類

車両・
高所
作業車

クレーン

ハウス・
トイレ・
備品

資材類

資料

● 高所作業車 作業上の注意点

